

ほとこらせ

2012年7月31日/発行:北海道重症心身障害児(者)を守る会在宅部会(略称-守る会) 第50号

重症心身障害児から学んだこと

北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課長 梅井 治雄

学生時代から障がいのある方々と係わりをもっていました。三十数年前のことで、障がい者支援のボランティアに参加したり、障害児・者施設でアルバイトをしていました。特に自分は障がい者に係わりたいという意識はなく、アルバイトは条件が良いから、ボランティアはかわいい女子学生が参加していたからと、動機は軽佻浮薄そのものでした。ただ、障がいのある方々を常に身近に感じながら学生生活を送っていたことは事実でした。

しかも、障がいのある方々の福祉や教育の仕事に就こうとは思ってもみませんでした。就職環境が厳しかったので、「どこでもよいから就職したい」くらいは考えていましたが、ただ漠然と障がいのある方々の学校や施設で働くことは、何か崇高な思いのある特別な方がするもの、自分はその心構えが出来ていないと思っていました。

しかし、卒業して、仕事に就いたのは重度身体障害者更生援護施設の指導員で、自分には確かな覚悟も自覚もありません。そのような中、新任研修に行ったのが、当時としても先駆的な取り組みをしていた都立府中療育センターでした。なぜ、府中療育センターで研修したいと希望したのか、なぜ重症心身障害児施設を選んだのか覚えていません。当時、かの大島分類の大島先生もいらしたはずですが、そんな権威のある方がいたことは後年知りました。府中のスタッフの方からは、本当に親切に何も知らない私に熱心に教えてくださいましたが、30年以上も前の話で研修の内容は殆ど忘れてしまいました。

ただ一つ、この研修で、重症心身障害児に接したことが、今の福祉の仕事が長くなったきっかけになったと思っています。府中で重症心身障害のある彼らの「生きている」という姿を見てポジティブな印象と素直に感動しことを強烈に覚えています。なぜ、そう思ったのか、それまで、道内の重症心身障害児施設は見たことはありましたが、当時の私の目には全く異なったもののように映りました。「この人たちは、きちんとした環境があれば、こんなにも生き生きとした生活ができるということか。最も弱いとされる人を守ると言うこと、こんなことを仕事としていけるのならそれもいいのではないか」未熟な私の目を見開かせたこの経験が、福祉の分野から離れずに仕事をし続けている原点となったと思っています。

重症心身障害児・者支援の現状と課題

～地域特性と時代の流れのなかで～

4月からの制度改正に伴い、全国守る会事務局長宇佐美氏より「重症児者をめぐる最近の動向」、北海道障がい者保健福祉課長梅井氏より実態調査に基づいた「北海道の福祉施策について」の行政説明があり、その後其々の立場から実態報告と課題を提言していただきました。その一部を紹介します。

道内広域過疎地域に点在する
重症児者の在宅支援と
施設としての将来展望

入所施設の立場から

北海道療育園園長 平元 東 氏

1. 呼吸管理が必要な超重症児への対応可能なベッドを増やすとともに、現在の入院ベッド数336床を二ースに合わせた適正な規模に縮小を検討
⇒NICUなどからの受入
⇒介護者の高齢化などによる在宅困難者に対応できる「生活介護」も念頭に模索
2. 短期入所ベッドの増床<レスピレーター対応可>
3. 在宅支援機能の拡充
⇒訪問看護、訪問リハ、地域通所事業所への医療支援事業等
4. 道や市町村、各団体との連携・協力体制の構築
⇒発達支援協議会、自立支援協議会への参加
⇒「北海道重症心身障害医療研究会」の発足
地域医療機関とのネットワーク作り
⇒地域の在宅支援事業所の把握と連携

北海道療育園の現状<H23.3現在>

年々進む！入所児者における障害程度の重度化

【入所者数 335 名 平均年齢 41 歳、18 歳未満 14 名】

【医ケア程度】 【人工呼吸器 42 人、気管切開 47 人、酸素療法者 46 人、経管栄養<胃ろうなど>120 人】

支援する在宅重症児者 200 人

旭川市と周辺地域・道北地域<留萌・稚内・紋別等>

【医ケア状況】 人工呼吸器:29人<14.5%>

気管切開:52人<26.0%> 経管栄養:68人<34.0%>

【入所待機者数】 44名<H23.12現在>⇒29名が19歳以上

施設として本人の重症化と家族の高齢化にこたえきれていない現状

医療を必要とする児者も利用する通所が100カ所など、在宅介護サービスの種類や供給量が道内各地に増えている状況があります。
〈道実態調査より〉

肢体不自由教育の今・昔

北海道真駒内養護学校

教諭 渡部 眞一 氏

▶昭和46年当時の進路支援の考え方

「障害者が健全者に伍して<肩を並べて>生きるには、健全者の何倍も努力すべきである」

▶現在の<本校>の進路支援の考え方

「福祉制度を利用し、負担を軽減しながら、本人の希望に沿った将来像に向かう」

短期入所・・・美幌療育病院 1床のみ

北見市と障害者団体（守る会など）が共に改築
予定の第3次医療機関北見日赤に短期入所受入
を要望している。



●○ 家族の立場から ○●

中川 智恵子 氏<オホーツク地区>

●重症児の兄弟出産

一昨年に仲間のお母さんが第2子を出産時、本人の預け先がなく、ヘルパーや日中一時支援を利用しつつ祖父母にきてもらい入院期間中をしのぎました。

その後、同じ課題が浮上したら・・・、祖父母に頼れない場合はどうしたいのか。

そのような中で、第二子の出産に踏み切れない若いお母さんもいます。

●特別支援学校への通学に移
動支援の活用を！
通学バスの対象外でもあり、
家に車がない、運転できない母
親はタクシーによる登校学習で
す。
当事者家族の実情を考慮した
具体的な支援がほしいです。
●通学のみでの看護師の対応を
訪問生徒登校時にも！

今年も一人、又来年も卒業生は増えていきます

子どもが行きたいと思える通所が明日にでもほしい

卒後3年経って感じる事・・・本人の体力激減
頑張る力、日々の生活を楽しむための力が無くなる。

本人の持っている力を引き出し、先につなげようとした学校教育
それが卒後、急に介護や預かりに変わる。

介護は本人にとって受け身、預かりは見守りでしかない。

現場の人は病態や状態を把握するのに精一杯で、教育の場でせっかく作られた
個別の支援計画を見てもらい、伝えても、何を言っているのかもわからない。

卒後の生活は親が自分でプロデュースするしかない。

子どもが卒業するころというのは、親が弱ってくる。

ちょうどそれまで力になってくれていた祖父母までも弱ってくる。

子どもも弱る。どんどん手がかけられなくなる。

それが当たり前前の生活になる。

親たちが自前でネットワーク

今、重症児関係者が集まってネットワーク会議を約一カ月おきに行っている。

毎回、情報の共有、知恵を出し合う場として定着、そろそろ土台づくりから
本人たちが生きがいを持って通える場所の実現に向かいたい。

日中一時支援
事業・ヘルプサ
ービスを利用し
ての生活です
が・・・

○医療型短期入所事業では、4月から
日中活動後に「夜間利用」で短期入所が利
用できるようになり、在宅支援の幅が広が
りました。〈楡の会施設長 加藤法子氏より〉

○通園事業が生活介護に移行して、本人主
体の活動や療育（セラピー等）が後回しにな
らないようにと思います。家族の入浴を希望
する声は多くなってきたのですが。

今後の特別支援学校における医療的ケア
～連携から明らかになった課題と解決への取り組み～

より良い学校生活を共に支える

今年度4月から始まった介護職員等によるたんの吸引等制度は・・・ある特別支援学校の様子を伺いました。

Q『介護保険法等改正法』（社会福祉士及び介護福祉士法一部改正）制定の意義は？

A「障がいのある人が、地域で当たり前で暮らす社会」、「障がいのある人が、地域社会で暮らしていくことをどのように支えていくか」この二点であると考えます。

Q介護職員等によるたんの吸引等が法制化されたことは？

A医療的ケアを必要とする児童生徒の現在と将来の生活のために大変意義のあることですし、大きな前進でもありますね。

Q今後、特別支援学校がより良い医療的ケアを実施していくためには？

A関係機関と連携を取りながら、課題を解決していかなければならないと考えます。

Q具体的な課題としては？

A行政との連携に関して、学校は、申請書類の作成に膨大な時間と労力を要し、行政機関は、書類の審査のために膨大な時間と労力を要しています。

又、医療機関との連携に関して、行政機関による、民間を含めた各医療機関、各医師に対して、「介護職員等による喀痰吸引等の制度」のさらなる周知徹底が必要です。

Qではこれらの二つの課題を解決していくためには？

A特別支援学校は全職員が勉強会を行うなど、法制化された医療的ケアを理解した上で、行政機関に現状や意見を伝えていく必要があります。

また、主治医とはこれまでと同じく医療的ケアを要する児童生徒の状況を具体的な資料で伝えることで看護師への適切な指示書などより良い連携が可能と考えます。

Q他に特別支援学校の重要な役割としては？

A医療的ケア実施による児童生徒の成長を地域社会に伝えていくことです。それが、地域社会への障がいのある児童生徒の理解促進にもつながり『介護保険法等改正法』制定の意義を達成することができるのではないのでしょうか。

医療的ケアの実施対象者の増加、ケアの内容の複雑化が進む中で保護者、関係者との信頼関係をていねいに築きながらの連携がよりいっそう大切になってきていると感じました。

(大田 記)

特別支援学校における
医療的ケア

【2004年10月～2012年3月】

実質的違法性の阻却（やむを得ない）

保護者の同意書、主治医指示書、看護師配置による指導などを条件に各自治体や教育委員会が体制を整備

対象範囲（教員が行う）

痰の吸引<口腔内・鼻腔>

経管栄養<胃ろう・腸ろう・経鼻>（いずれも状態確認は看護師）

【2012年4月～】

対象範囲の拡大

一定の研修を受けた教員は一定の条件の下で気管カニューレ内部の吸引も可能。

長期欠席や入 回数の減少など登校日数が増え、生活リズムや健康管理ができて学習効果も見られます。

保護者と離れる時間が増え、多くの教職員や友人との関わりができて、将来的な自立心を育てる基礎となっています。

医療的ケア実施による

成果 (H23 道内各学校報告)

児童生徒の個々の健康状況についての確に把握することができ、適切な対応ができるようになりました。

看護師や教員等へ子どもへの体調面などの相談がしやすくなり、その都度アドバイスをもらうことができます。

M君20才の手続き PART2



前号で20歳になってやったほうがいい手続きを紹介しましたが、受付から5ヶ月ちよつとで裁定があり、全て手続きが終わりました。参考にしてもらえよう手続きをまとめました。 <松坂 記>

	障害基礎年金	特別児童扶養手当	特別障害者手当	重度心身障がい者医療費受給者証	有料道路ETC割引
どんな制度	障害の状態が1級か2級に該当し、20歳から65歳までの方で、医師の診断を受けて1年6ヶ月たつて障害の状態にある人がうけられる。	資格喪失手続き	重度障害のため常時特別の介護を必要とする20歳以上の人	重度障害者の保険医療費を助成する制度。年金生活者になると、本人の所得での生計維持者と認められる為、負担の軽い障初となる。	身体障害者・療育手帳を持っている方で、ETCの利用で高速料金が半額になる。(手帳の提示でも半額になる)
どこで手続き	保険年金課 国民年金の係	保険福祉課 福祉助成係	保健福祉課 福祉相談係	保健福祉課 医療助成係	保健福祉課 交通費助成係
必要書類	<ul style="list-style-type: none"> 年金手帳 印鑑 本人名義の預金通帳 住民票(コード入) 本人の所得証明 診断書 受診状況等証明書(医師記入) 病歴申立書 	<ul style="list-style-type: none"> 特別児童扶養手当受給者証 	<ul style="list-style-type: none"> 診断書 住民票 家族全員の所得証明 身体障害者手帳 療育手帳など 	<ul style="list-style-type: none"> 障害基礎年金が振り込まれる、本人名義の預金通帳(年金の入金記帳がされているもの) 健康保険被保険者証 	<ul style="list-style-type: none"> 本人名義のETCカードを作り、手続きする 身体障害者手帳 車検証 ETC車載器管理番号
認可迄の平均期間	3, 4ヶ月、さらに決定されてからおおよそ50日後に入金	窓口で、すぐ案内もきます	3ヶ月	年金の入金後、窓口に行くとその場で手続きができる	窓口で受付後すぐは手帳で割引を受ける。10日位
いつから・対象範囲その他	20歳になった次の月から。申請時に、国民年金の法定免除の申請も忘れずに!	20歳まで	20歳到達後、自己申請してから	障害基礎年金が口座に振り込まれた後、役所で手続きをした次の月から	20歳までは親の名義のETCカードで良い

***札幌市の場合** (窓口は市区町村によって呼び方が違う場合あり)

区によっても、人によっても、時期によっても(新年度は制度がまだ理解できていない人が窓口にいたりする)役所の対応は様々です。

いまはなんでも申請なので、知らないとせつかくの制度が受けられなかったりします。

本来、福祉って、困っている人に手を差し伸べるものなのでは...と思いますが...

自信のない人は、相談支援事業所に気軽に相談してから、できれば一緒に申請に行くことをお勧めします。

ドキドキ&ありがとう♡

Kにとって5回目の飛行機旅行。マイルがたまっていたので旅行代理店を通さず全部自分達で手配しました。比較的慣れているはずの旅行で数々のトラブルがあり、沢山の人に助けられました。これから旅行する人の参考になればと思います。 (猪狩 記)

準備

- ・ JALプライオリティゲストサポートに連絡。旅行日から2週間前までの日付で医師からの診断書、必要な手配について(車椅子のサイズ・医療機器の種類、品番)、同意書の書類を用意し、FAXしておく。体調不良時に備え医師からの情報提供書も用意。(具合が悪い時使う薬や対処方法を記入してもらおうと尚良い)
- ・ 荷物は2日前に発送。170 サイズで ¥2200。
- ・ 羽田空港~ディズニーランドまでの車椅子用タクシーを予約。東京福祉タクシー総合配車センター
0120 - 39 - 5294

☆片道

- 基本料金 3100円
- 介助料金 1000円
- 迎車料金 1000円
- + (30分) 3100円
- + 高速料金行き 900円
- + 高速料金帰り 900円
- + 消費税
- 障害者料金 310円
- 合計 ¥10190

3日目

早朝から熱が下がらずホテルのコンシェルジュと呼ばれる相談役に相談。重症児であることを伝え、病院とタクシーの手配をお願いする。この時、年齢伝えず・・・紹介してくれたこどもクリニックへ。

当日(1日目)

飛行機

- ・ 搭乗時⇒車椅子利用者は一般利用者以前に機内へ。塔降時⇒一般利用者がすべて降りてからの案内。
- ・ JALサービス⇒空席利用の横になるスペースを用意
- ・ 水平飛行になってからは横向きに寝かせる。



東京

- ・ 羽田空港⇒予約していた大型タクシーに車椅子ごと乗車⇒ディズニーシー到着！！
- ・ 桜が満開だが、風が強く肌寒い。夜は相当寒いかも。
- ・ かなり寒いので防寒。手袋、ネックウォーマ必需品。

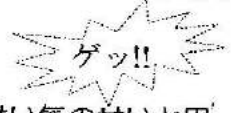
2日目

宿泊先のホテルでの朝食

チェックイン時に粒なしミキサー食での対応をお願いしていたため、完璧な仕上がりで家族と同じものが出てきた。口から味見をして胃ろうからのご飯を堪能した。

ディズニーランドへ

すごい人ごみ。入学式間近のため空いてるかなと思っていたら逆に多いのではという感じ。
ミートミッキー、カリブの海賊、イツアスモールワールドにやつのことで乗れた。
ミッキーにキスしてもらいテンション上がる。
夕方・・・ん・・・Kを触ると熱っぽい??気のせい気のせいと思、ながら夜までは寒くていられないのでお父さんと一緒にホテルへ帰る。ホテルで体温計を借りて計るとやはり微熱が・・・朝まで様子を見ることに・・・



こどもクリニックで見てもらえずタクシーを呼んで東京ベイOOセンターへ

②これから飛行機で帰るので、脱水が心配です。点滴してくださいか。



③血液検査の結果では点滴は必要ないですね。タミフルだしますね。



①インフルエンザ B 型です

病院代

休日診療で約 5000 円。重心障害者医療受給者証は道外では使えない。区役所で後日償還払いの手続きをして一部負担となる。

タクシー代

ホテル〜こどもクリニック〜東京ペイ〇〇センター〜ホテル 12000 円(立)

なんと!!

チェックアウト時間はとうに過ぎていたが、これまたホテルの好意で飛行機の時間まで無料でどうそとの事。ありがたい。

下の子とお父さんはディズニーランドで遊んで、母は K にタミフルを飲ませてホテルでお留守番。夕方予約していたタクシーで羽田空港へ。

少し早めについたので一時間早い飛行機に乗せてもらえることになり助かった。

この時、パルスオキシメーターの値 93、いつもは 96 なので若干低めであることを確認。またまた、JAL の好意で周りを空席にしてくれて、横になって使える事に。呼吸状態がいつもより悪かったため、飛行機に乗ること自体が心配だったが、帰るなら今しかないと思い帰る判断をした。

飛行機上空ではパルスオキシメーターの値が 85 になり顔色も悪くいろいろと覚悟した。

呼吸状態が悪いので横になっての着陸をお願いして許可された。無事到着!!着陸後は 93 になり安心。

帰宅後 1 週間熱が下がらず、病院受診。気管支肺炎のため 1 週間入院してしまった。

今回、色々なことがあった旅行でしたが、沢山のひとと出会い、助けてもらい沢山勉強になって帰ってきた。機会があればまた懲りずに遊びに行きたい!!

イラスト協力 H さんありがとう♥

車椅子でクルージング!!



太陽がまぶしい季節となりました。皆さん!海が恋しくなりませんか?

夏といえば海ですが、車椅子で海に出かけるのは、なかなか大変ですよ?そこで今回、車椅子に乗ったまま十分に海を堪能でき、しかも優雅な気分になれる《クルージング》をご紹介します。

私達が体験してきたのは、函館の観光遊覧船ブルームーンです。

ブルームーンは船底が2つに分かれている双胴船というタイプの船で揺れが少なく、とても快適なクルージングを楽しむ事ができます。

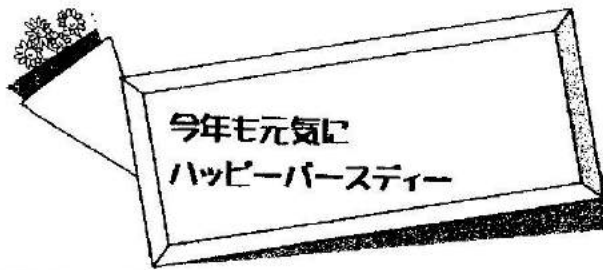
運航は函館港内1周のペイクルーズとナイトクルーズの2タイプ。

今回はペイクルーズ体験でしたが、遊覧船初体験の子供は、デッキで心地よい潮風に包まれながら海の香りを感じ、波の音やカモメの鳴き声に耳を傾け、日の光に照らされてキラキラ光る海面をジッと見つめ、普段感じた事の無い感覚を味わっているようでした。

そして親も、マリブルーの広い海の上で、日常の忙しさや疲れから少しずつ解き放たれ、徐々に優雅なひと時を過ごす事ができました。親子でゆっくり海を満喫できたのは、これが初めてです。

暑い夏、海に行きたいけど車椅子だから・・・と思っている方、海を楽しむ特等席《クルージング》はいかがでしょう。

<三浦 記>



会員紹介

和田 美枝子 (娘 育子) 苫小牧

6月12日は娘31才の誕生日

訪問看護師さん、ヘルパーさん達で毎年思考をこらした誕生会をしてくれます。今年は動物のペーパーサ-トを持って、中にはお猿のかぶりものをつけた看護師さん。

娘の大好きな童謡を全員で合唱、娘は大喜びです。

嬉しくて笑うため人工呼吸器が何度かピーピーと鳴り出します。

「ハッピーバースデー育ちゃん誕生日おめでとう」と拍手。

「私たちに笑顔と元気をくれてありがとう」の言葉に娘は満面の笑顔で応えます。

最後に皆で「ハイチーズ」、記念写真がまた1枚増えました。

後日看護学生さんが在宅での看護実習に入ってきました。

毎年この時期に何人かの学生が実習に入ってきます。

在宅での看護、介護、日常生活の実態を知ってもらう事も大切と考え、学生の受入に協力しています。

娘もいろいろな人にふれあい、刺激がある様子。

親もいろいろな人のサポートを受けながら、娘の頑張り笑顔にすくわれ、元気をもらっています。



ピンチをチャンスに

在宅医学会 その方 ことわ

計画停電への対応

この夏の北海道電力計画停電実施に、在宅で医療機器や健康管理に電気機器を使用する家族から不安の声が上がりました。

それを受け7月23日、守る会と自立生活センター北見の共同で在宅重症児者の対応を申し入れたところ、北見市の迅速な動きがありました。

- ① 北見市のホームページに、計画停電に関する相談窓口を設ける。
- ② 在宅当事者とサービス提供福祉事業所間で対応を確認するよう市から各事業所へ文書を通知する。
- ③ 北見市内に暮らす在宅重症児者宅(19名)を市の保健師が訪問する。
計画停電に対する備え、日頃の生活でどのような課題、不安を抱えているか、自家発電の必要な状況が確認できたケースについては北見市から北電に申し入れる。

今後の緊急時への対応にも道が開けそうです。

見えないものは想わない(デンマークのことわざ)

どう見せるか、どう気づいてもらうか・・・

今回、地域で暮らすALS患者でもある自立生活センターの渡部さんと共通な課題と一緒に取り組めたことは市を動かす大きな力になりました。

〈オホーツク地区 浦西〉

子どもの日、市民協働実行委員会主催の「大空を飛ぶ夢ビクニック」が開催され、重症児2名も家族と一緒に軽飛行機に乗って大空散歩を体験しました。詳しくはオホーツク守る会ホームページを！

重症児2名が軽飛行機で大空散歩

**ピッカリ母さん
元気の基は？**

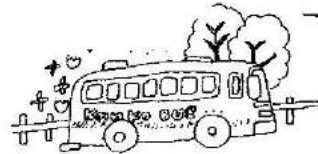
昨年までできていた我子の介助がしんどくなって・・・
通所先への提出物をうっかり忘れて・・・
心身共に衰えてきたことを自慢？、慰め合ったりしてませんか？
加齢現象は自然な流れと受け入れるもいいのかもしれませんが。
でも家族のためにも自分のためにも元気であることが一番ですよ。
今回は旭川地区成人の母たちの元気の基を紹介します。

体に良いスポーツは別
にしていません。
息子が通所している日
に夫と日帰り温泉や道の
駅めぐりをしています。
親たちとの交流を兼ね
たランチも楽しみます。
△母60代 息子33才△

夏はパークゴルフ、気の
合う友人とランチ、冬はカ
ラオケに行きます。
通販で健康機器を買い、
色々頑張っています。
△母60代 息子35才△

月曜日は夫と健康ランドへ行き
ます。水曜日はプールで1時間く
らい歩いています。
たまに一人喫茶店で本を読み2
時間程過ごします。
△母70代 娘41才△

仕事が忙しいのでな
かなか出かけられませ
ん。
子どもを通じて親た
ちと交流会をして楽し
い時間を過ごすこと。
ランチも嬉しいです。
△母60代 息子38才△



幸せの黄色いレシートキャンペーン

活用して
います！

昨年から札幌地区守る会とほっとこ会（ボランティア会）
は市内のイオンショッピングセンターにボランティア団
体として登録しました。

地域の皆様の黄色いレシート投函のご協力があり、其々
4万円、5万円のイオン商品券の寄贈がありました。

デジタルカメラや事務用品などを購入し、活動に大助か
りです。〈イオングループはマックスバリュウ、ジョイ等〉

幸せの黄色いレシートキャンペーンとは？

イオンの地域への社会貢献活動です。地域で活躍しているボラ
ンティア団体などに対してイオンが助成しています。毎月11日
に出る黄色いレシートを登録団体回収ボックスに入れてもらう
ことで、年度末に総金額1%が商品券として寄贈されます。

慎んでご冥福を
お祈りいたします。

訃報

平成二十四年七月七日

本宿 和江さん（五十六才）

△札幌地区会員△



ドキュメンタリー映画「普通に生きる」

広がる！道内各地で上映会

7月5日札幌市エルプラザで5回の上映、約920名の観客がありました。

5月から市内関係者<施設・親の会・特別支援学校など>による実行委員会で準備、ポスターやチラシを広く市民に見てもらふことからチケット販売に奔走しました。

映国の感想は？

- ・施設職員、養護学校の保護者などからぜひ、上映会をやりたいという声がある。
- ・要望するだけでなく、自分たちも何かやれることをと突き動かされました。
- ・とっても良かったです。感動しました。たくさんの人に見てもらいたいなあと思いました。

「普通に生きる」なんて言わなくてもよい社会

あした たがや
そんな明日を耕す映画でした。

*個人・グループ等が主催・共催の上映会（入場料無料）なら
1日52,500円でBDの貸出可
制作・著作・配給：マザーハード
TEL&FAX03-6913-5591

今後の予定

- 8/25.26(土日) 札幌地区守る会ふれあいキャンプ
15:00～<定山溪ホテル鹿の湯>
- 8/25.26(土日) 滝川地区守る会交流キャンプ
<新十津川町サンヒルズサライコテージヴィラトップ>
- 9/8.9(土日) 全国守る会ブロック専門部会長会議
- 10/6(土) 土別・名寄地区守る会親子交流デイキャンプ
<土別市九十九公園>
- 10/6.7(土日) オホーツク守る会集団指導療育キャンプ
<ホテル網走湖荘>
- 10/13.14(土日) 帯広地区守る会介護者支援研修会
<十勝川温泉笹井ホテル>
- 10/13.14(土日) 第3回ライディングヒルズ静内障がい者乗馬大会（日高地域守る会・他共催）
<新ひだか町静内・真歌ライディングヒルズ静内>



小さな声を大切な声として

正会員・賛助会員募集

北海道守る会は子どもたちの生涯にわたるより良い暮らしを願って地域に根ざした活動を展開しています

連絡先 北海道守る会事務局

〒071-8144 旭川市春光台4条10丁目

☎(0166)51-6524・FAX(0166)51-6871

会費 正会員 8,600円

賛助会員 7,000円

(月刊誌両親の集い購読料350円を含む)

編集後記

今月はじめ、会報編集委員でもあった本宿和江さんが7年にも満たない闘病生活から天国に旅立って逝きました。在宅役員として、きょうだい支援事業の事務局として力を尽くしてくれていました。豊かな発想力と問題意識を持ち、「それって違うのではないですか」とはつきり言えるひとでした。そして、みんな限りある命を生きていることを教えてくれました。

感謝申し上げます。

（太田記）

★ 編集責任者・太田由美子 ☆ 編集協力者・中村勲子・松坂貴子・猪狩麻起子 ☞ 会への要望、会報へのご意見、ご希望等がありましたら各地区在宅役員、又は太田<☎FAX011-771-8345 Eメール:cpwsr828@chime.ocn.ne.jp>迄お寄せください。